

2015年は、十二・五の最終年。中国政府にとって構造改革の年

☆☆☆☆ 通算 2013年～2015年 第46号 ☆☆☆☆
<発展改革委：強力推進節能減排加快建设生態文明>

<%Name%>さん！省エネ・環境のエガちゃんです。

春節休暇も終わり、皆様も休みモードから仕事モードへの転換に苦労されておられるのではないのでしょうか。そんな中ではありますが、中国政府の構造改革は歩みを停めることなく進められております。

今日は、発展改革委員会が発表した省エネ・環境改善推進のテーマについて考えてみたいと思います。

まず、中国語のサイトではありますが、以下の原文をご覧ください。

http://www.gov.cn/xiwen/2015-02/17/content_2820529.htm

◆テーマは六つです。

1. 加快生態文明建設步伐（生態文明建設の歩みをスピードアップ）
2. 加大節能減排工作力度（省エネ、CO2削減プロジェクト能力のアップ）
3. 大力發展循環經濟（循環經濟發展の拡大發展）
4. 着力加強環境保護（環境保護を強力に進める）
5. 完善法規標準和政策（法規標準と政策の完善化）
6. 加強宣傳培訓和國際合作（宣傳研修と國際協力の強力推進）

※日本語は意識です。

さらに、これに続けて以下の様に結んでいます。「12次五カ年計画の節能減排の約束性目標の要求達成を確保するため、更に重点内容を明確にし、ポイントをハッキリさせ、小さな動きが全体に及ぶ重大な問題を捉えて、計画を強化し、創造的に仕事を推進し、緑色發展方向へ進め、循環、低炭素転換、経済社会の持続可能な發展を推進させる。」

何度も申し上げておりますが、今中国は歴史上かつて無いほどの「経済と環境の一大転換点」にあり、そのために「反腐敗運動」も「政策、法令などの強化」も進めているのです。

中国に長くお住まいの方であれば実感が湧くと思いますが、2014年からの政府の政策の進め方はこれまでとは「異次元」の動きとなっています。

是非、今一度我々が経済活動を行っている中国という大国の動きを敏感に捉え、大胆に且つ迅速に省エネと環境改善を進めていきましょう。

ただし、ここで忘れてはならない事があります。それは「経験」と「体験」というポイントです。

これまで中国には「信頼」、「品質」、「誠実」等に対する実感が乏しい時代が続いてきたという事が足枷となっています。

いみじくも以下のサイトのニュースでも言っているように、「信頼性」というものがいまだ国民の中に欠如していると言う事が重要なのです。

<http://biz.searchina.net/id/1562357?page=1>

<http://news.searchina.net/id/1561627>

『家電アナリストの劉歩塵氏の発言として「中国人観光客が日本で洗浄便座などを購入している本当の理由は製品の質とは無関係であり、信頼性が理由だ」と紹介。中国人自身が中国製品を信頼していないことが根本的な理由だとし、中国ブランドの信頼性確立が重要だと論じた。』

つまり、<%Name%>さんの会社の社員さんの認識の中にも、「省エネや環境改善活動をやったって何の良いことがあるんだ？」という不信感や猜疑心が未だに残っているということなのです。

これを払拭することが先決です。そうでないと決して省エネや環境改善は長続きせず、そのような大義名分を用いて単なる自分の小遣い稼ぎの手段とされてしまうこともあるのです。

2015年が本格的に始まりました。今一度政府の方針と現場の現状を良く見極めて「失敗しない中国での経営」を達成いたしましょう。